

学校評価集計（児童・保護者）

令和5年度 春江東小学校

A:当てはまる B:どちらかと言えば当てはまる
C:どちらかと言えば当てはまらない D:当てはまらない E:わからない(保護者のみ)

① 温もりと優しさ溢れる心の育成

A,Bの合計 ◎:90%以上 ○:80%以上 ▲:80%未満

あいさつ運動の推進と無言清掃の徹底			A	B	C	D	E	A+B
児童	私は、先生や友だち、家族や地域の人に自分から挨拶や会釈をしている。	R5年	47.6	42.8	8.4	1.3		◎ 90.4
		R4年	45.8	45.2	7.7	1.3		◎ 91.0
	私は、口を閉じてそうじに取り組んでいる。	R5年	59.0	29.0	9.7	2.3		○ 88.0
		R4年	73.2	21.0	4.5	1.3		◎ 94.2
保護者	お子さんは、家族や地域の人に挨拶や会釈をしている。	R5年	19.4	61.3	16.8	1.9	0.6	○ 80.7
		R4年	32.3	53.7	11.8	0.9	1.3	○ 86.0

【成果と課題、改善策・向上策】

- ・どの項目も昨年度に比べて、低下している。
- ・清掃に関して、環境委員会や清掃班長を中心に無言清掃を呼びかけていく。
- ・今年度は、あいさつに関する取り組みがあまりできていなかった。来年度に向けて、「あいさつ運動」などの取り組みを定期的に変更していく。

人権意識の向上と思いやりの心の育成			A	B	C	D	E	A+B
児童	私は、学校のきまりや約束を守っている。	R5年	45.8	48.7	5.1	0.3		◎ 94.5
		R4年	52.4	41.8	5.1	0.6		◎ 94.2
	私は、友だちに優しく接している。	R5年	60.6	37.1	2.3	1.0		◎ 97.7
		R4年	65.1	29.2	4.8	1.0		◎ 94.3
保護者	私は、「ありがとう」「ごめんなさい」を言うことができる。	R5年	67.5	28.9	3.5	0.0		◎ 96.4
		R4年	68.2	29.9	1.9	0.0		◎ 98.1
	お子さんは、学校や社会のきまりを守って生活している。	R5年	37.7	55.2	2.6	1.3	3.2	◎ 92.9
		R4年	47.0	46.3	3.9	0.4	0.6	◎ 93.3
お子さんは、思いやりの心が育っている。	R5年	40.6	51.6	3.2	1.3	0.6	◎ 92.2	
	R4年	50.2	43.7	5.7	0.0	0.4	◎ 93.9	
保護者	お子さんは、「ありがとう」「ごめんなさい」を言うことができる。	R5年	32.3	52.9	12.9	1.3	3.2	○ 85.2
		R4年	32.5	57.9	8.8	0.4	0.4	◎ 90.4

【成果と課題、改善策・向上策】

- ・普段から「ありがとう」「ごめんなさい」が言えるように、教員も意識して使っていく。また、道徳や学級活動、学校生活全体でも指導していく。
- ・今年度実施した「ありがとうの木」を、来年度は定期的に行っていく。

安心・安全で居場所がある「魅力ある学校づくり」			A	B	C	D	E	A+B
児童	私は、友だちと仲よくしている。	R5年	75.8	23.2	0.6	1.3		◎ 99.0
		R4年	78.1	18.1	2.5	1.3		◎ 96.2
	私は、楽しく学校に通っている。	R5年	57.2	32.8	7.4	2.6		◎ 90.0
		R4年	54.4	34.8	8.9	1.9		○ 89.2
保護者	私は、みんなで何かをするのが楽しい。	R5年	71.9	24.8	2.6	0.6		◎ 96.7
		R4年	73.0	22.5	3.2	1.3		◎ 95.5
	お子さんは、友だちと仲よくできる。	R5年	55.5	36.8	3.2	1.9	2.6	◎ 92.3
		R4年	61.6	34.1	0.9	0.0	3.5	◎ 95.7
保護者	お子さんは、楽しく学校へ通っている。	R5年	54.2	35.5	6.5	3.2	0.6	○ 89.7
		R4年	52.6	38.2	6.6	2.2	1.3	◎ 90.8

【成果と課題、改善策・向上策】

- ・不登校・いじめの未然防止や早期発見に努めるために、東っ子アンケートを定期的の実施し、教育相談を行っていく。
- ・縦割り行事が実施され、異学年交流がさらに増えたため、児童の達成感や満足感を得ることができた。今後も、さらに子どもの充実感を得られる活動を実施していきたい。

② 一人一人の確かな学力の向上

A,Bの合計 ◎:90%以上 ○:80%以上 ▲:80%未満

「わかる授業・できる授業・わくわくする授業」の実践			A	B	C	D	E	A+B
児童	私は、授業がよく分かる。	R5年	45.0	46.9	7.1	1.0		◎ 91.9
		R4年	39.9	49.1	10.1	0.9		○ 89.0
	私は、自分の意見や考えを友だちに伝えることができる	R5年	39.2	44.4	14.1	2.3		○ 83.6
		R4年	40.3	42.9	14.0	2.9		○ 83.2
	私は、先生の話や友だちの発表をしっかりと聞いている。	R5年	61.3	33.2	5.2	0.3		◎ 94.5
		R4年	65.0	32.8	2.3	0.0		◎ 97.8
私は、学習で分からないことがあったら先生や友だちに質問している。	R5年	51.9	35.7	9.7	2.6		○ 87.6	
	R4年	52.2	35.0	8.9	3.8		○ 87.2	
私は、進んで学習に取り組んでいる。	R5年	38.1	40.0	16.8	5.2		▲ 78.1	
	R4年	39.9	42.7	14.9	2.5		○ 82.6	
保護者	お子さんは、授業（学習）の内容を理解している。	R5年	25.8	58.1	11.6	1.3	3.2	○ 83.9
		R4年	27.1	55.9	13.5	2.2	1.3	○ 83.0
	お子さんは、家庭学習の習慣が身に付いている。	R5年	14.8	55.5	23.9	5.2	0.6	▲ 70.3
		R4年	30.1	54.1	14.8	0.9	0.0	○ 84.2

【成果と課題、改善策・向上策】

- ・「進んで」という意味が曖昧なため、「自学ノート」と捉えてしまったと考えられる。来年度は「学習課題に進んで取り組む」とし、再度確認していく。
- ・学習習慣アップ作戦の取り組みで家庭学習を身につけていくよう、文言を変えていくといい。

基礎基本の確かな定着			A	B	C	D	E	A+B
児童	私は、漢字や計算などの学習に取り組んでいる。	R5年	57.9	34.3	6.5	1.3		◎ 92.2
		R4年	53.6	36.9	8.5	0.9		◎ 90.5
保護者	お子さんは、漢字や計算などの力が身に付いている。	R5年	28.4	54.2	14.2	1.9	1.3	○ 82.6
		R4年	47.6	43.2	5.7	0.0	3.5	◎ 90.8

【成果と課題、改善策・向上策】

- ・チャレンジテストは、応用問題を出题し、点数が下がったと思う保護者が多かったと思われる。来年度は個人の目標を設定し、それに向かって取り組めるよう声かけをしていく。目標を達成したらシールを渡すなど、個人内評価を高めていくようにする。

読書活動の推進			A	B	C	D	E	A+B
児童	私は、くすのきタイムなどに本を読んでいる。	R5年	49.0	31.9	12.9	6.1		○ 80.9
		R4年	57.5	31.4	6.7	4.4		○ 88.9
	私は、本を読むのが好きである。	R5年	45.2	34.3	13.1	7.4		▲ 79.5
		R4年	54.1	22.9	12.1	10.8		▲ 77.0
保護者	家庭で、お子さんは、読書に親しんでいる。	R5年	9.0	29.0	37.4	23.8	0.6	▲ 38.0
		R4年	22.4	36.4	32.0	8.8	0.4	▲ 58.8

【成果と課題、改善策・向上策】

- ・ライブラリーに親しみやすい本が増えたため、児童の読書量が増えた。
- ・ライブラリーの環境を、静かに読める工夫を考えていく。
- ・タブレットやスマホなどの電子書籍も認めていくと、家庭読書をする児童が増えていくのではないかなと思う。
- ・「おはなしの国」の動画は、字幕付きもある。学習まんがなども、よい物がある。保護者に随時配信していくといい。

③ 基礎体力づくりと健康づくり

A,Bの合計 ◎:90%以上 ○:80%以上 ▲:80%未満

体力づくりの推進			A	B	C	D	E	A+B
児童	私は、なかよしタイムや昼休みの時間にすすんで体を動かしている。	R5年	60.1	29.3	8.7	1.9		○ 89.4
		R4年	60.3	25.9	11.4	2.5		○ 86.2
保護者	学校は、運動やスポーツに親しませ、体を動かす機会を増やすように努めている。	R5年	30.3	49.0	9.0	1.3	10.3	▲ 79.3
		R4年	36.8	50.0	6.1	0.0	7.0	○ 86.8

【成果と課題、改善策・向上策】

- ・コロナの制限が無くなり、進んで体を動かしているという意識をもっている児童は増えている。
- ・来年度の業間体育は、各色で分かれていたなかよしマラソンを全校一斉にし、「走」の運動の機会を増やす。また、なわとび大会の前のなかよしタイムでは、縦割りで縦のつながりを意識してなわとびの練習を行いたい。
- ・委員会活動や縦割り遊び（鬼ごっこやなわとびなどの活動）を通して、より体を動かす機会を増やしていきたい。

安全意識の育成			A	B	C	D	E	A+B
児童	私は、交通ルールや登下校のきまりを守り、安全に気をつけて登下校している。	R5年	78.2	19.6	1.9	0.3		◎ 97.8
		R4年	72.1	24.8	2.9	0.0		◎ 96.9
児童	私は、学校でけがをしないように安全に気をつけて行動している。	R5年	58.1	36.7	4.5	0.6		◎ 94.8
		R4年	72.1	24.8	2.9	0.0		◎ 96.9
保護者	お子さんは、交通ルールや登下校のきまりを守り、安全に気をつけて行動している。	R5年	49.0	41.9	5.2	3.9	0.0	◎ 90.9
		R4年	52.8	41.0	3.1	0.4	2.6	◎ 93.8

【成果と課題、改善策・向上策】

- ・児童が安全に学校生活を送れるように、学校全体での安全指導の徹底を継続して行う。
- ・東っ子委員会や学期末の地区なかよし会では、普段の生活の安全についての反省を促すなどして、児童や教員から呼びかける機会を設けていきたい。

望ましい健康意識の育成			A	B	C	D	E	A+B
児童	私は、規則正しい生活（早寝、早起き）をしている。	R5年	48.1	39.0	11.3	1.3		○ 87.1
		R4年	37.7	48.1	11.1	3.2		○ 85.8
	私は、朝ごはんを食べて学校に来ている。	R5年	87.8	6.4	3.9	1.9		◎ 94.2
		R4年	84.2	10.7	2.5	2.5		◎ 94.9
私は、苦手なものでも残さず給食を食べている。	R5年	67.3	18.1	11.0	3.6		○ 85.4	
	R4年	65.6	20.5	10.4	3.5		○ 86.1	
私は、メディア（ゲーム、テレビ、スマホなど）の時間を守っている。	R5年	47.2	36.9	12.9	2.9		○ 84.1	
	R4年							
保護者	お子さんは、早寝・早起き・朝ご飯の習慣が身に付いている。	R5年	46.5	38.7	12.3	2.6	0.0	○ 85.2
		R4年	38.4	47.2	12.7	1.7	0.0	○ 85.6
	家庭では、テレビを観たり、ゲームをしたりする時間を守っている。	R5年	17.4	46.5	25.8	10.3	0.0	▲ 63.9
家庭では、テレビを見たりゲームをしたりする時間にきまりがある。	R5年	29.0	45.8	18.7	6.5	0.0	▲ 74.8	
	R4年	26.6	47.2	21.0	5.2	0.0	▲ 73.8	

【成果と課題、改善策・向上策】

- ・東っ子生活習慣チェックを継続し、規則正しい生活ができるように指導していきたい。
- ・講師の先生を招き、親子で「メディアの使い方」について学んだり、ゲームへの悪影響について発信したりする時間を設けたい。
- ・年度初めに、我が家のスマートルールを家庭でしっかり話し合っ決めていくように呼びかけたい。

④ 信頼される学校づくり

A,Bの合計 ◎:90%以上 ○:80%以上 ▲:80%未満

積極的な家庭・地域との連携、地域を愛する心の育成			A	B	C	D	E	A+B
児童	私は、ゲストティーチャーやボランティアの方との学習は楽しい。	R5年	48.0	37.3	11.4	3.3	▲	○ 85.3
		R4年	51.1	36.1	9.3	3.5		○ 87.2
	私は、見守り隊や地域の人に感謝の気持ちをもっている。	R5年	66.6	23.7	8.4	1.3	▲	◎ 90.3
		R4年	65.6	29.3	4.1	0.9		◎ 94.9
	私は、今、住んでいる地域が好きである。	R5年	79.1	16.1	2.6	2.3	▲	◎ 95.2
		R4年	78.9	16.0	4.1	0.9		◎ 94.9
保護者	学校は、様々な情報発信（学校だより・学年だより・学級からのお知らせ・ホームページ・メール配信）を行い、家庭との連絡や連携を行っている。	R5年	47.1	45.8	3.9	0.6	▲	◎ 92.9
		R4年	44.7	50.4	4.4	0.0		◎ 95.1
	子どものことで、悩みや問題があった時に学校に相談できる。	R5年	34.4	46.1	13.0	1.9	▲	○ 80.5
		R4年	34.1	50.7	8.7	1.7		○ 84.8

【成果と課題、改善策・向上策】

- ・ボランティアの方や見守り隊の人々に感謝の気持ちを伝える機会を設定する。例えば、2学期に集会などで関係方々を招いて人物紹介、活動紹介などをしたり、感謝のありがとう手紙などを書いたりする活動を取り入れる。
- ・感染症対策も緩和されて、地域での交流活動も以前のように戻ってきているので、学校としても積極的に参加を促した結果、地域が好きという児童が増えた。
- ・Home&schoolアプリを取り入れたことにより、利用に慣れていないこともあり、学校と地域との連携が減ってきていると感じられるのではないだろうか。